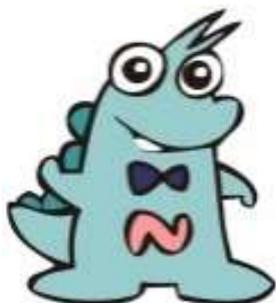


コミュニケーション支援ボード

使用マニュアル

平成29年4月



日進市・
日進市障害者自立支援協議会
権利擁護部会



コミュニケーション支援ボード

使用マニュアル

1. コミュニケーション支援ボードとは

平成28年4月に障害者差別解消法が施行されました。この法の目的は、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を作っていこうというものです。

この法によって義務化された合理的配慮というのは、障害のある人からの何らかの配慮を求める意思表示が起点となっています。しかしながら、自閉症や知的障害のある人等にとっては、話し言葉によるコミュニケーションが困難な場合が多く、周囲の人にわかりにくいという問題がありました。

そこで、本市では、話し言葉に代わるツールを用意し、地域の様々な場所に設置してもらうことで、少しでもバリアとなっているコミュニケーションの問題の改善を図る目的で「コミュニケーション支援ボード」を作成しました。

文字や言葉で伝えることが難しい人は、「コミュニケーション支援ボード」の絵を指さして意思を伝えることができます。また、コミュニケーションのとりにくい人にも、言葉かけと絵を見せることで伝えやすくなります。

障害のある人が困っている、対応する側が困っている、そんな時は「コミュニケーション支援ボード」の出番です。

2. こんな人にご利用ください

- 聴覚に障害のある人
- 言語に障害のある人
- 自閉症・知的障害のある人で言葉と絵で伝えると理解しやすい人
- 相手に伝えることが難しい人

3. 基本的な使い方

① 何か困っていたり、何か伝えたいことがあるような場合に、まずは横にまわって注意をひいてから、ゆっくり、やさしく、簡潔に声をかけてみます。この時、なるべく一人で対応してください。



② こちらの言葉の意味が通じていない時や、相手が何を言っているのかわからない時に、「コミュニケーション支援ボード」を見せてください。



③ 「コミュニケーション支援ボード」を指さしてもらうことで、意思を確認してください。



④ 指さしが困難な人には、こちらから指さして聞いてみたり、表情や動作などで反応を確認してください。

また、非常時に障害のある人に対して行動する場合、次の行動を伝えてから、実際の行動に移ってください。



⑤ 言葉が話せなくても、文字が書ける人もいます。筆談をしてみてください。また、実物を提示することでわかる場合もあります。



4. 障害のある人を理解してください

落ち着いて状況を把握してください

何か不安なことやわからないことがあるのかもしれませんが
尋ねられていることが理解できていないかもしれません

何か困っているみたい・・・

- 困っているなど自分の状況や気持ちをうまく伝えられない人もいます。
- 表示や音が見聞きできない人、文字や言葉がわからない人もいます。
- 尋ねたことに対し、意図を理解しないで、すぐに「ハイ」「うん」と答えてしまう人もいます。

- 具体的にゆっくりと、伝わっているか確かめながら話してください。
- 伝えたいことは、絵や文字、または実物が用意できると理解を助けます。
- コミュニケーション支援ボードを使ってみてください。

気になる行動をしている・・・

- 何回も飛び跳ねたり、手をばちばち叩く、身体を同じリズムでゆすったりする人もいます。
- 気持ちを落ち着かせようと独特の動きをする人もいます。
- ウロウロしたり、いつまでも同じ場所にいる人もいます。

- 危険でなく周囲の人の迷惑でなければ、しばらく様子を見守ってください。
- それからゆっくりと話しかけてみてください。
- コミュニケーション支援ボードを使ってみてください。

危険な行動や行為をしている・・・

- 状況の判断がつかず、パニックを起こしやすくなる人もいます。
- 人ごみや大きな声、音、まぶしい光などが苦手な人もいます。

- 急に強い口調で注意したり、急に手を引っ張ったりすることは逆効果です。
- まずは、静かな口調で「危ないですよ どうしましたか」などと声をかけてください。また、手や身体で伝えたいことを表現して、危険な場所からの移動を試みてください。
- 混乱が大きい時は、静かな場所に移動し、落ち着くまで見守ってください。
- 落ち着いたら、コミュニケーション支援ボードを使ってみてください。